

2024年度第2回 理事会 議事録

開催日 : 2025年3月27日(木) 18:00~19:30

開催場所 : zoomによるオンライン形式

出席者 : 石田直章、井岡雅子、遠藤華英 / 欠席 : 徳永大作、柿崎裕彦(委任状提出)

以上、理事5名のうち3名が出席で理事会成立

オブザーバー : 吉田進強化委員長、吉田寿子ヘッドコーチ、中村晃子顧問税理士、岡本孝義

地域育成委員会 委員長、中元伊知郎(正会員)、事務局より2名(吉田彫子、佐藤勇介)

議長 : 石田直章 / 議事録署名人 : 井岡雅子、遠藤華英

石田理事長から理事会開会挨拶。

1、地域組織育成委員会より報告(岡本委員長より)

・地域普及 : 今年度は選手コーチをもっと増やしていかなければとして進めていき、研修会を実施した。岡山、愛知に加え、予算が余ったので山口でも実施。選手、コーチ、審判候補を増やすことはできた。

・岡山 : これまでのクラブから連盟に昇格。

・愛知 : クラブを結成し、自分たちで運営していこうという機運が高まった。

・山口 : 選手候補をもう1名増やし、パワーハウス山口を復活させ練習拠点にすることができた。

・今年度の活動所感 : 拠点候補がない地域での普及活動の重要性を感じた。

・来年度 : JPSAも未開拓地域に力を入れていきたい希望がある。Jスターとの連携も強化していきたい。実施回数を増やす。関西、中国、四国、九州で実施(助成が取れば・熊本県パラスポ協会、あるいは鹿児島、宮崎)

四国 : 新規開拓で愛媛を予定している

大阪 : 城陽での実施を見据えて大阪にも声掛けをしたい

山口 : パワーハウス山口を中心にクラブ化のフォローをしていく

鳥取 : 新人発掘に取り組み、来年再来年に連盟化を目指したい

●質疑応答

質問1(吉田寿子ヘッドコーチより) : パワーハウス山口は正式な名称ではないのではないのか? 関係者に確認し修正が必要と思われる

回答1) 承知した。

質問2(井岡理事より) : この活動費用はどこから出ているのか?

回答2) 連盟の費用ではなく JPSA の地域振興(都道府県のパラスポーツ協会に向けたお金であった)のお金で動いている。今回も助成を取れた範囲で進めていく。

2、強化部から（吉田進強化委員長より）

・強化選手案

JPC 強化指定選手：今年は和人さんになった（パリで8位以内に入ったため）

⇒連盟の強化費は使わないことになる

特に異論なく、強化部案にて進行

・2025 年度強化方針

ビジョン：筋肉で日本を持ち上げる

ミッション：ロスパラリンピックに4名参加、2名がメダル争いをする

そのための戦略として下記を考案中。

① トレーニングプログラムのさらなる改良

ピーキングの再検討とチェーンベンチなど補助運動の取り入れ

② 海外急成長チームから学ぶ

ブラジルのジェファーソンコーチの招聘

チャレンジカップ後にメニューを作ってもらい7月の合宿に招聘予定

日韓でのコラボレーションも（年1回の合同合宿など）

③ コーチ陣と医科学サポートの強化

サポートスタッフの強化も合わせ、チームとして強くなっていく。

コーチ育成講座、動作解析、心理栄養医科学トレーナーの充実も。

●質疑応答

質問1）（井岡理事より）：ジェファーソンコーチの招聘費用の予算感は？

回答1）JPC 強化費で Air 代（50万）、NTC East 宿泊費、謝金を考えている

質問2）（吉田彫子事務局長より）：世界選手権にコーチだけではなくサポートスタッフも派遣できないか？

回答2）心理面、コンディショニング面で考慮はしているが、金銭念が大きな課題。韓国とのコラボも追加予算が取れば。

質疑応答後、提案された強化案で承認される。

3、2025 年度活動予定（吉田寿子ヘッドコーチより）

・日常練習会：土曜日は全員参加でチームメイキングにも取り組んでいく

・合宿：京都合宿を「ミニ合宿」へ。土曜サンアビリティで練習、日曜は京都トレセンにて勉強会

・国内合宿：新たな実施地はなくこれまで行ったところを計画

・全日本選手権：現状は仮の予定。26年4月にアジアオセアニア選手権（ロスパスウェイ）@パタヤがある。12月に実施したい希望はある。

【岡本委員長から】11月の岡山記録会は、全日本が12月にあるならばやめた方がよいか。現状11/13-16（木～日）。ホテルの都合でそこしかない。

【石田理事長から】愛知記録会もフレキシブルに変更可能。

●質疑応答（井岡理事より）：

質問1）サンアビから京都トレセンへの送迎をどうするか？

回答1）車で行っている人に分乗か、矢野さんにレンタカーで対応いただくかというかたち。

質疑応答後、提案された活動予定で承認される。

4、事務局より報告（吉田彫子事務局長、佐藤事務局員より）

・イベント

社会への貢献文脈でないと共感が得られない

① 筋肉×教育：小学校で3回実施

② 筋肉×笑い：社会人向けに松竹スクエアで実施

⇒実施したところでもスポンサー獲得はできていない

・新ビジュアル

筋肉や力持ちだけでなく多面的な魅力を伝えるべくアートディレクターと協業し、カラフルさや均整、美を表現。

・全日本報告（広報面）

1.4億円の広告換算となった。来場はWeb記者が多かった。他競技イベントとの兼ね合いで、八王子ということもあり取材は少なかった。

振り返り：いろいろなコラボ活動はおもしろい一方、一番の興味は選手の活躍という声があったため2025年度はここにつながるような活動をする。

2025年スローガン：「世界の大舞台で本領発揮」

選手の活躍につながるような広報・マーケティング活動を。パラサポ助成金は普及イベントには出さないと言われており、マーケティング活動に注力していく。

・マーケティング活動：25年度は300万円の資金獲得を目指す

5、2025年度予算案（吉田寿子ヘッドコーチより）

・Toto助成金の決定発表は4月17日のため暫定となる。そのため固まってから改めての議論とする。

●質疑応答（井岡理事より）：

質問1) 表内の「自己資金」とはどのような項目か？

回答1) 収入と支出の差額のこと、選手負担金やスポンサー資金も含む。また、toto 一貫教育とは、新人から TOP 選手までどうやって教育していくかのプロジェクト資金（交通費など）となる。

6、提案議題（吉田寿子ヘッドコーチより）

・年度末の個人立替について

助成金の支払タイミング（後払いのため）の兼合いで、進強化委員長が大きな金額を立て替えている（数百万円）。銀行からの一時借入対応を検討したく、必要要件をヒアリングしていただけないか。パラの他競技でのやり方も情報収集していきたい。

●まずは事務局で情報収集し、それをもって石田理事長に動いていただくこととなった。

7、理事の任期について

井岡理事の仕事の都合で、無報酬とはいえ兼業が禁止となる可能性がある。

理事の任期は2年であり、総会での承認を得る必要がある。事務局で詳細を確認する。

8、アスリート委員会

アスリート委員会メンバーの任期が今年度末で終了となるが、全員が継続意向があり理事会としても承認することで決定した。

以上、審議事項が終了したので、議長より閉会が宣言された。

書記；佐藤勇介

議長

石田直章



議事録署名人

井岡雅子



議事録署名人

遠藤華英

